## 鹿児島市内圃場【かぼちゃ】編

### ■試験の目的

本試験は、下水汚泥肥料の窒素肥効率やカリウム成分の補給効果の検証を行うものです。

#### ■試験方法

鹿児島市内の圃場では、以下の2区画に分けて施肥試験を行います。

区分	肥料構成	特徴
区分1	化学肥料	従来の施肥方法による 比較対象区
区分 2	下水汚泥肥料+化学肥料	基肥は下水汚泥肥料のみ 不足するカリウム分を化学肥料で補給 追肥は従来の施肥方法

#### ■施肥設計

試験区分	基 肥 (kg/10a)					追			Æ (kg/10a)				合計 (kg/10a)						
	肥料名	施用量	成分量				- 肥料名	施用量	成分量					成分量					
			窒素	りん酸	カリ	カルシウム	マグネシウム	- 肥料石		窒素	りん酸	カリ	カルシウム	マグネシウム	窒素	りん酸	カリ	カルシウム	マグネシウム
区分1	苦土石灰	100				32.0	15.0	BBNK44	40	6.0		6.0				16.0	15.0	45.0	16.0
	苦土重焼燐	20		7.0		4.0	1.0								15.0				
	かぼちゃ配合	60	9.0	9.0	9.0	9.0													
区分2	苦土石灰	60				19.0	9.0	BBNK44	40	6.0	6	6.0					16.0	39.0	12.0
	かぼちゃ配合	40	6.0	6.0	6.0										15.0	17.0			
	マグマソイル	300	3.0	11.0	1.0	20.0	3.0					0.0			10.0				
	硫酸加里	6			3.0														
	※ 全窒素のうち、アンモニア態窒素1%のみを有効とし、窒素施肥量とする。																		

区分1: 慣行の化学肥料主体の施肥

区分2:基肥にマグマソイルを慣行栽培と同程度の窒素になるよう施用し、不足するカリ を硫酸カリで補給。追肥は慣行栽培と同様に化学肥料を施肥

## ■試験期間

令和7年8月~令和7年12月(秋作)

# 【鹿児島市内の圃場での取り組み】

鹿児島市内では、農業生産者の協力のもと、10aの圃場にてかぼちゃを対象に施肥試験を実施しています。使用する下水汚泥肥料は鹿児島県の施用ガイドライン(10aあたり500kg)を遵守し、安全性と肥料効果の両面から評価を行っています。

今後は、かぼちゃの収穫後に品質や生育状況を分析し、他作物への応用可能を検討してい く予定です。